

# 基地のない日本を目指し 決意新たに すわりこみ行動を続けます

**第14回定期総会70人参加 竹下岳赤旗記者の記念講演で 米・中・口の核・ミサイル開発競争がもたらす最新の激変する軍事情勢を学習**

記念講演はユーチューブで配信しています。

横田基地でのすわりこみ行動は、**12月19日**で**153回目**を迎えます。

無理せず、しかし怒りを込めてご参加下さい。

新たな変異株オミクロンが、世界各地で次第に感染を拡大し、日本にも入ってきました。改めて感染拡大に十分注意しつつ、すわりこみ行動を続けていきます。

横田基地の CV 2 2 オスプレイは6月からわずか6か月の間に、3回も緊急着陸を繰り返しています。また、日本各地の市街地上空での低空飛行が目立つようになり、怒りの声があがっています。

このまま米軍のやりたい放題を許してはいけません。

横田基地周辺に住む私たちにとって、ある種、日常化してしまっている低空飛行が、実はとんでもない戦争訓練なんだ、ということに改めて強く認識し、取り返しのつかない墜落事故を引き起こす前に、一日も早く配備を撤回させ、本国へ追い返さなくてはなりません。

欠陥機であることは変わりませんが、これからますます訓練が激しくなることが予想される軍事情勢です。いつ大事故が起きてもおかしくないのです。

## 米中軍事対決の下、中国のミサイル攻撃の標的にされている世界1危険な横田基地

米中の核・ミサイル開発競争がもたらすもので、私たちが絶対に許してはいけないことは、この開発競争の果てに、本当に戦争に踏み込むことです。

### 竹下講演・資料から

「台湾有事」が発生した場合、米本土からの増援は3週間かかる。そのため、初期対応は在日米軍が担当。しかし、「中国のミサイルによる先制攻撃で妨害される」「在日米軍への先制攻撃のために、中国軍はすべての停泊している米艦船、200以上の駐機している航空機、全ての主要な司令部、兵站施設、滑走路への打撃を加えるための精密打撃能力とミサイルの数を誇示している」「とりわけ、中国のロケット部隊は駐機している高い価値のある米軍の航空機を標的にするというシナリオで訓練をしている」（米中経済安全保障調査委員会・年次報告2021年11月17日）

ここではっきりしていることは、横田基地は主要な司令部（在日米軍司令部・第5空軍司令部）であり、3350メートルの滑走路を有する第1級の標的だということです。恐ろしいことに、本当に狙われたら基地とその周辺は、一瞬にして焦土となることは明らかです。

● **毎月第3日曜日 午後1時30分～ フレンドシップパーク**（青梅線牛浜駅から徒歩7分）

**横田基地の撤去を求める西多摩の会**

竹下講演の開き方  
核・ミサイル開発競争  
一変する軍事情勢  
横田基地撤去  
などを入力して下さい。



☆多くの皆さんとともにご覧下さい。  
台湾危機をめぐり、米・中の軍事対決のもたらすとんでもない危険性、自衛隊が米軍とともに戦うことの愚かさ、米軍基地横田の存在の危険性、などを、多くの皆さんとともに確認し、たたかいの力にしていきたいと思います。

### フレンドシップパーク地図



連絡先 0428-31-6175 窪田